

限られた地域資源を生かし 東北一の酪農の町に

= 公社を核とした外部支援の実践 =

社団法人 葛巻町畜産開発公社



岩手県岩手郡葛巻町

- ・盛岡市から北へ69km、車で90分
- ・北緯40°、標高1,000m級の山々に囲まれた山間地帯
- ・人口7,938人、2,926世帯
- ・酪農が基幹産業

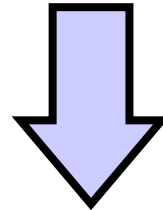




くずまき高原牧場

公社設立の目的

山地型酪農の確立



- ・酪農の機能分担(ほ育・育成、搾乳、採草)
- ・「地域酪農経営の支援・振興」の拠点
- ・その運営は企業的精神をもって



くずまき高原牧場

公社の概要

- **設立** 昭和51（1976）年3月30日
- **資本金** 2億1300万円
- **総面積** 1774ha（牧草地・コーン畑1203ha）
- **事業** 夏期放牧、ほ育・育成
乳製品加工・販売など
4部門 14事業
- **飼養頭数** 夏期：3250頭 冬季越冬：2700頭
- **従業員数** 111名

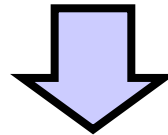


くずまき高原牧場

活動内容

@発足当時

- ・「夏期預託放牧」と「乾草生産販売」
- ・職員10人体制
- ・大規模牧場経営の経験が少ない

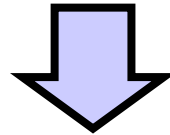


- ・入牧頭数が少ない
- ・草地管理が不十分
- ・飼料代・肥料代の支払いが滞る
- ・コスト意識があまりない



@その後

- ・積極果敢な新技術・事業の導入
- ・実証展示、農家支援・代行



「東北一の酪農の町」に



くずまき高原牧場

地域農家への実証展示



ロールベラーを傾斜地に
先進的に導入



間伐材と選挙掲示板利用に
よる低コスト畜舎



牛乳・乳製品加工施設



バイオガスプラント

等々



実証展示の効果

公社

粗飼料高位生産



農家

デントコーンと牧草の
輪作確立、土壌改善

低コスト牛舎
多頭飼養技術



廃材利用の牛舎
飼養管理

牛乳・乳製品製造



高品位生乳生産の
意識高揚

エコファーム構想



小型プラント導入の
可能性を検討



くずまき高原牧場

農家の代行機能

- ・夏期預託放牧
- ・ほ育・育成事業
- ・酪農ヘルパー
- ・飼料生産





公社の代行により・・・

公社

夏期預託放牧

ほ育・育成事業

農家

- ・68戸が利用(H16)
- ・酪農家の規模拡大に貢献

- ・いい牛ができると多くの預け入れ:2335頭(H16)
- ・町外、県外からも高評価で預け入れが増加
- ・酪農家の規模拡大に貢献
- ・第12回ホル共、岩手県20頭のうち9頭が葛巻町から、うち5頭が1等賞



公社の代行により・・・

公社

酪農ヘルパー

- ・現在は任意組合化しヘルパー養成を担当

飼料生産

- ・現在は全量公社で利用
- ・生産技術は農家へ

農家

- ・他地域に先駆けて事業化
- ・休日、ゆとりの確保
- ・新規就農の促進

- ・良質粗飼料の供給

公社とともに町も発展

(S51年/H16年比)

公社収入額 **5480.0%**

葛巻町
酪農産出額 **285.8%**

岩手県
酪農産出額 **113.8%**



くずまき高原牧場

人材育成

- ・研修センターの運営
後継者、ヘルパー、公共牧場職員等の育成
- ・短期、日帰りの専門研修
いつでも、何日でも、どなたでも
- ・公社職員の能力開発
率先して視察研修
資格の取得





くずまき高原牧場

経営支援対策

- ・生産・経営面の個別指導
- ・初妊牛の無償、無期限の貸し付け





くずまき高原牧場

その他の地域貢献

- ・地域の雇用創出
- ・消費者への緑・やすらぎ空間・情報の提供とPR



